

2020年4月14日

## COVID-19のパンデミックと子どもの権利に関する公開書簡 —「力を合わせようイニシアティブ (JOINING FORCES INITIATIVE)」

大統領、首相、市長をはじめとする世界のリーダー、政府関係者の皆様

私たちは、数百万人の命を深刻な危機に晒している新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の発生に対応するため、政府の指導者である皆様が、これまで経験したことのない戦いの最前線に立ち、対策を講じていることに敬意を表します。COVID-19 に打ち勝つためには緊急の措置が必要不可欠であり、その措置の規模や程度は国によって異なるということも認識しています。

COVID-19 は、世界中に大きな痛みと苦しみを与えています。この恐ろしい病気で愛する人を失った人々に心から哀悼の意を表し、また失う可能性のある人々にお見舞いを申し上げます。

COVID-19 により大人たちが深刻な影響を受けている中、世界の子どもの権利擁護を専門とする 6 団体として、私たちは、幼少期から青年期までの子どもたちが、このパンデミックによって、成長し発達する各段階において甚大な影響を受けることも認識頂くよう政府関係者に要請します。

私たちは、COVID-19 のパンデミックを食い止めるための努力が、世界中の子どもの健康や福祉、将来に影響を与えることを認識しています。子どもの生存と発達の権利、身体的および精神的健康、栄養、保護、教育、福祉とケアへのアクセスの権利、さらに子どもたちの知る権利と意見を聴かれる権利を擁護するため、政府が対応策を講じることが必要です。

最も貧しく脆弱な人々に占める子どもたちの割合は非常に大きく、保健医療体制が脆弱な低所得国において COVID-19 が蔓延すれば、これらの子どもたちは最も深刻な被害を受けるでしょう。人口密度の高いスラムや法的権利を持たない居住区や難民キャンプで暮らす数百万人もの子どもたちは、社会的距離を保つことや、適切な衛生状態を維持できないため、とりわけ感染のリスクに晒されています。COVID-19 は、家族の収入や食料の確保に差し迫った脅威を生み出すだけでなく、子どもたちが養育者と別離せざるを得なくなったり、養育者を失うようなことになれば、安全や適切なケアにも危機をもたらします。

私たちは、紛争の影響を受けている 4 億 2000 万人の子どもたち、中でも移動を余儀なくされている 3000 万人の女の子と男の子について懸念を抱いています。COVID-19 の感染拡大予防のための移動制限措置が、何百万人もの子どもたちが生き延びるために不可欠な人道支援活動を縮小させないことが極めて重要です。

学校に通えなくなった子どもたちは、すでに世界で 15 億人に達しています。これまでの他の人道危機の経験から、このような子どもたちの多くは二度と復学することなく、彼・彼女たちの生涯にわたる可能性に損害が与えられる可能性があります。また、学校給食プログラムを含む教育システムによって提供さ

れてきた保護がなくなることで、何百万人もの子どもたち、特に女の子は、暴力、搾取、ネグレクト、栄養失調およびインターネットを通じた暴力などに対するリスクが高まることが考えられます。

チャイルド・ファンド・アライアンスの事務局長であり、「力を合わせようイニシアティブ (JOINING FORCES INITIATIVE)」の CEO であるメグ・ガーディナー氏は、次のように述べています。「COVID-19 に対する必死の戦いにおいて、COVID-19 による直接の脅威だけではなく、COVID-19 の拡大予防のため、各国政府が講じた移動制限措置によって生じる意図しない結果から、子どもたちを確実に保護する必要があります」

子どもの権利のための団体の「力を合わせようイニシアティブ (JOINING FORCES INITIATIVE)」グループとして、私たちはこの未曾有の危機における子どもたちを保護するための具体的な対策を講じることを政府に要請します。これらの対策には、栄養価の高い食事の提供、適切な管理、保健医療サービス、暴力からの保護、家庭での代替教育、危機に関する信頼性の高い情報へのアクセスの保障を、感染拡大予防のための移動制限措置や子どもたちの心理的ストレスに対処することと共に実施する必要があります。

私たちは、すべての人々に対応が求められる前例のない世界的な公衆衛生上の危機に直面しています。あらゆる地域に住んでいる地球上のすべての人々を保護するためには、最も高いレベルでの国際および地域間協力、情報共有、そして連帯が必要です。

最後に、ウイルスの蔓延を抑制するために、個人の自由に対して例外的な制約が課されていることを指摘します。このような制約は一時的なものとして、各国の人権に関する規約に従って定期的に見直されることを要請します。課される制約は必要不可欠であり、予測されるリスクに対して相応のものである必要があります。あらゆる対策は子どもの最善の利益を尊重し、子どもたちの権利の保護と実現を保障すべきだと考えます。

## 力を合わせようイニシアティブ (JOINING FORCES INITIATIVE) 賛同団体

※子どもに対する支援を実施する主要な6つの国際NGOの連合

メグ・ガーディナー (チャイルド・ファンド・アライアンス事務局長)

アンネ・ビルギッテ・アルブレクトセン (プラン・インターナショナル CEO)

インゲル・アッシン (セーブ・ザ・チルドレン・インターナショナル事務局長)

ステファン・ブラーシュ (SOS チルドレンズ・ビレッジ・インターナショナル CEO)

デルフィー・モラリス (Terre des Hommes International Federation 事務局長)

アンドリュー・モーリー (ワールド・ビジョン・インターナショナル 総裁/最高責任者)

この声明は国連子どもの権利委員会の戦略的パートナーであり、世界最大の子どもの権利団体ネットワークである「Child Rights Connect」による承認を得ています。